



フットスイッチの正しい選び方、使い方

フットスイッチを選定される場合、使用目的に合った機能、構造、定格のものを選ぶことはもちろん、電気的性能も十分に吟味して使用条件に適合していることをお確かめのうえ、ご選定ください。

1. 負荷の種類について

負荷の種類（抵抗負荷、誘導負荷等）とその電圧（交流・直流）電流（誘導負荷の場合、始動電流、保持電流）を十分に確認する必要があります。誘導負荷の種類によっては始動電流と保持電流に大きな差があります。例えば、モーター、ランプ、ソレノイド等は電源スイッチ投入時に大きな始動電流が流れ、モーターは定格の5～10倍、ランプは10倍～15倍、ソレノイドは数倍から20倍前後流れるものがあります。負荷の内容、回路構成等をご確認の上お選びください。



注意

定格以上の過大電流が流れる場合には必ず電磁開閉器等を用いてご使用ください。

2. 低電圧微小電流でのご使用について

電子回路の制御等にフットスイッチを利用する場合、通常のマイクロスイッチを内蔵したものではありません。当社では需要の増えたこのようなフットスイッチの利用に最適な「低電圧微小電流シリーズ」を取りそろえておりますのでご利用ください。

3. 周囲環境について

フットスイッチは床面に置かれ、比較的苛酷な周囲環境で使われる場合が多く、ちり、ホコリ、水、油等が耐電圧性能の低下、絶縁性能の劣化の原因となる場合がありますので、これらを充分考慮し機種を選定を行ってください。

4. 衝撃について

フットスイッチの置かれている環境は概して苛酷な状態が多く取扱いも丁寧さを欠く場合があります。足もとにある関係上、落下物等は誤動作を発生させる原因にもなりますので過度の衝撃等には充分にご注意ください。寿命にも悪影響を及ぼす場合があります。必要に応じてカバー付フットスイッチ、またはオプションの保護カバーをご利用ください。

5. 特注仕様の対応について

フットスイッチの色やキャブタイヤコードの長さ、種類等、お客様のご要望に合わせて特注仕様の対応もしております。39ページの用紙をコピーして必要事項を記入の上、最寄りの弊社営業所にファックスしてください。また、不明な点についてはお気軽にお問い合わせください。

6. 屋外仕様について

フットスイッチを雨水や直射日光の当たる場所でご使用されることは想定していません。ご使用される場合は、ご相談ください。

7. 電気的安全性について

弊社のフットスイッチは、一部の機種（低電圧微小電流タイプ）を除き、電気用品安全法技術基準に適合しております。

8. RoHS 指令対応について

弊社では安全及び環境に配慮し、RoHS指令（2011_65_EU）が規制する禁止物質について対応しております。
*CEマーキング対応を示すものではありません。